

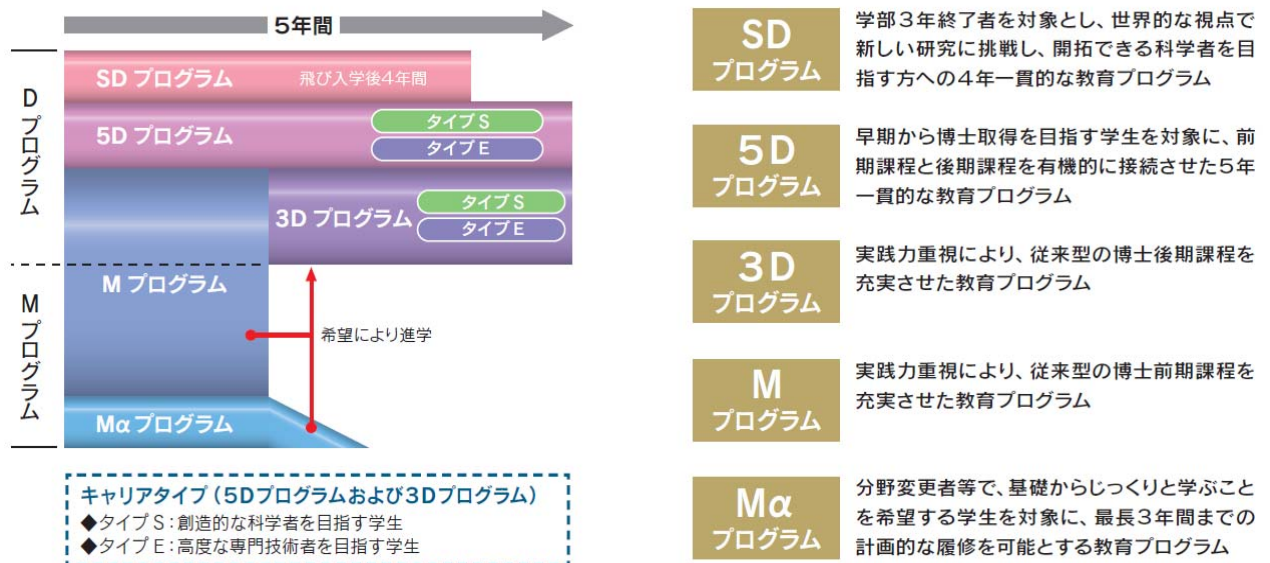
平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 2 2 年 6 月
北陸先端科学技術大学院大学

目 次

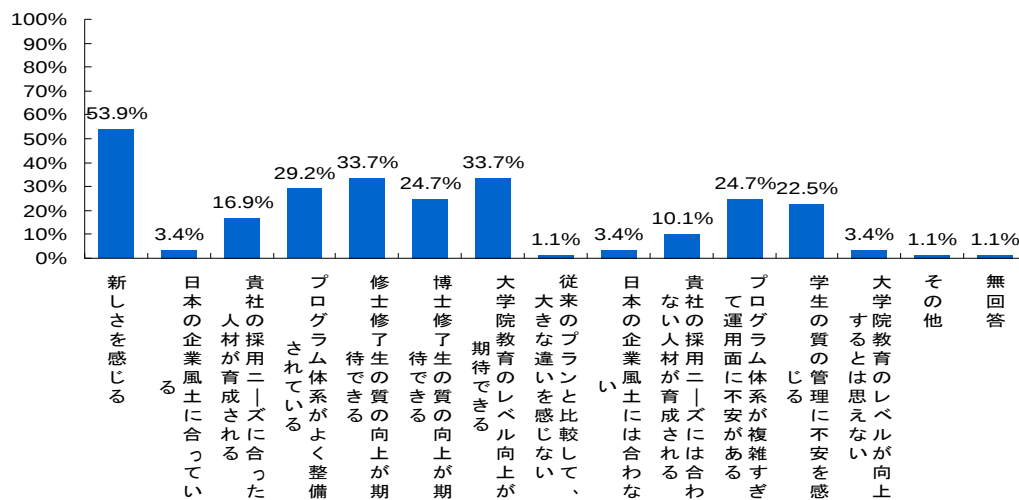
資料 1-2-1	新教育プランの概要	1
資料 1-2-2	産業界に対するアンケート結果	1
資料 1-2-3	修了確定者アンケート結果	1
資料 1-2-4	5D プログラム在籍者の動向	2
資料 1-2-5	留学生教育プログラムの概要及び受入状況	2
資料 1-2-6	社会人教育コースの概要及び学生受入状況	2
資料 1-2-7	高等専門学校との推薦協定の締結校数・推薦入学者数	2
資料 1-7-8	平成 20 年度以降の学生募集活動推進体制	3
資料 1-7-9	大学院説明会参加者数	3
資料 1-7-10	大学に対する資料請求件数	3
資料 1-7-11	入学志願者数の推移	3
資料 2-2-12	新教育プランにおける学外研修制度	4
資料 2-2-13	学外研修の実施状況	4
資料 2-2-14	インターンシップ参加者アンケートにおけるコメント	4
資料 2-3-15	実践的科目の概要と受講者数	5
資料 2-3-16	授業評価アンケートの結果	5
資料 1-5-17	電子ジャーナルのタイトル数・アクセス数	6
資料 1-5-18	JAIST 学術研究成果リポジトリの公開論文数・ダウンロード数	6
資料 1-5-19	サテライトキャンパスの学生への貸出数	6
資料 1-5-20	県内図書館からの資料借用数（学生のみ）	6
資料 1-6-21	超並列計算機システムの利用状況	7
資料 1-6-22	マイクロソフト包括契約によるライセンス費用節約の効果	7
資料 1-6-23	マイクロソフト学生向けインストールメディア販売本数	7
資料 1-15-24	平成 21 年度の MOS コースの講義における MOT コース学生の参加状況	8
資料 1-4-25	大学全体の共同研究件数に占める、特許権実施許諾や有償譲渡などを行った研究者の共同研究件数の割合	8

資料 1-2-1 新教育プランの概要



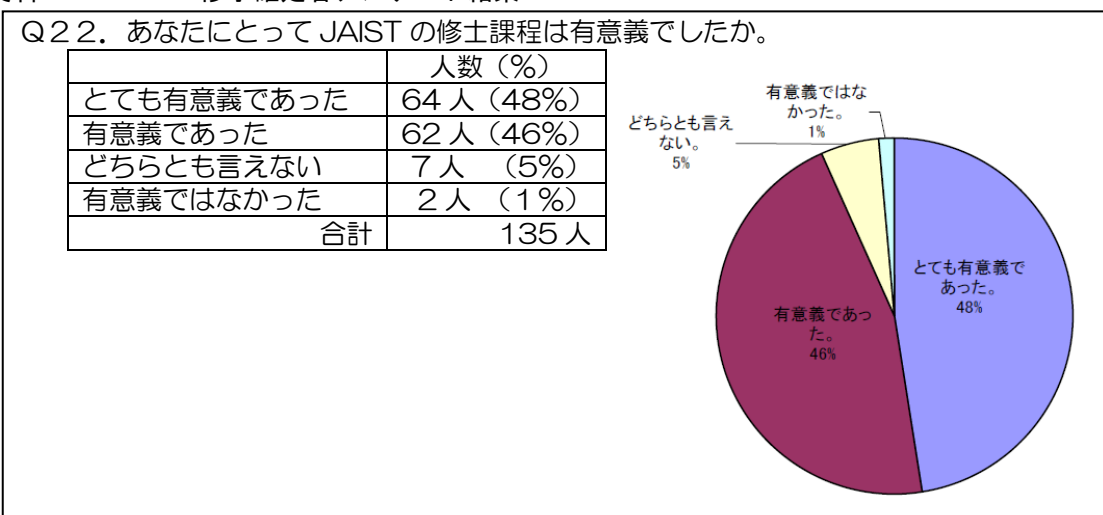
出典：本学概要

資料 1-2-2 産業界に対するアンケート結果



出典：新教育プランに関する調査 報告書（平成 21 年 3 月）

資料 1-2-3 修了確定者アンケート結果



出典：平成 21 年度修了確定者アンケート（平成 22 年 3 月）

資料 1-2-4 5D プログラム在籍者の動向

	H20.4入学者 (a)	H22.4進学者 (b)	進学率(%) (c)=(b/a)	H16-19内部進 学率平均(%)
知識科学研究科	5	2	40.0%	7.4%
情報科学研究科	4	2	50.0%	6.5%
マテリアルサイエンス研究科	5	4	80.0%	9.8%
計	14	8	56.7%	7.9%

出典：本学調べ

資料 1-2-5 留学生教育プログラムの概要及び受入状況

プログラム名及びその概要	受入学生数(人)	
	H20	H21
・デュアル大学院教育プログラム（平成 20 年度～） ベトナム及び本学の双方において、一定期間の教育研究指導を受け、学位授与の条件を満たした者に対し、本学の学位を授与する。本プログラムをモデルケースとして、これまでにない国際学術教育の共通性を導出し、「デュアル大学院教育プログラムのグローバルスタンダード」を発信・提案する。	14	21
・デュアルディグリープログラム（平成 21 年度～） 双方において、一定期間の教育研究指導を受け、両機関の学位授与の条件を満たした者に対し、双方の学位を授与する。本学の最先端の科学技術と海外の大学の高度な教育内容を融合させて、本学の理念である国際的な人材の輩出を目的とする。 ・デリー大学、天津大学（修士号） ・オウル大学、チュロンコン大学（博士号）		12
・高信頼組み込みシステム開発技術に関わる基盤的人材育成プログラム（平成 20 年度～） アジアからの留学生を、産学連携による実践的な教育プログラムによって、組み込みソフトウェアの基礎スキルを持ち、ソフトウェア開発に従事可能な実践的な知識と資質を持った専門開発技術者として育成し、北陸地域の企業へ輩出する。	4	12
計	18	45

出典：本学調べ

資料 1-2-6 社会人教育コースの概要及び学生受入状況

コース名及びその概要	受入学生数(人)
・サービス経営（MOS）コース（平成 21 年 10 月開設） 知識科学に基づく技術経営（MOT）でのイノベータ教育を基盤として、それに新サービスの創造を加速する情報技術を加えることで、新サービス創造を目指すイノベータを育成する。	9
・先端ソフトウェア工学コース（平成 21 年 4 月開設） 情報科学の系統だった基礎知識、ソフトウェア工学の諸原理、その諸原理を開発現場に適用するための各種ツール群、協力企業と設計した実践的な問題の PBL から成る理論と実践をバランス良く連続的に配置した体系的カリキュラムを提供し、理論に対して造詣の深い、実践力と応用力に富む博士レベルの人材を育成する。	9
計	18

出典：本学調べ

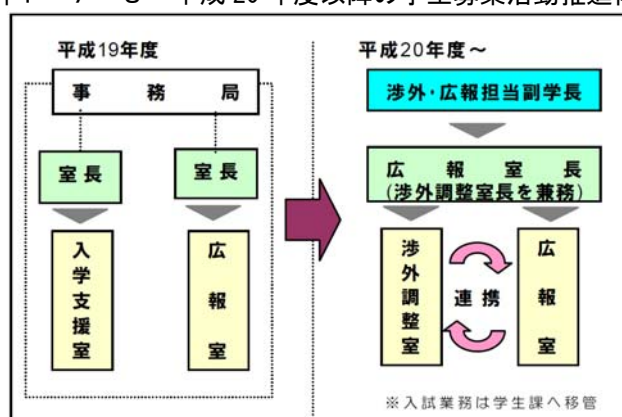
資料 1-2-7 高等専門学校との推薦協定の締結校数・推薦入学者数

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
締結校数	1	8	5	4	3	5*	23
入学者数		1	2	6	6	7	22

*3 件の再締結校を含む。

出典：本学調べ

資料 1-7-8 平成 20 年度以降の学生募集活動推進体制



出典：本学作成

資料 1-7-9 大学院説明会参加者数

	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人
北海道地区	2		11		11	
東北地区	5		16		13	
関東地区	151	80	187	112	146	180
東海地区	31		41		45	
北陸地区	211		196		151	
関西地区	74		69		96	
中国・四国地区	12		8		10	
九州地区	14		15		26	
計	580		655		678	

出典：本学調べ

*関東地区の参加者には「JAIST シンポジウム」及び「大学院進学セミナー」での説明会参加者を含む

*北陸地区の参加者には「オープンキャンパス」及び「一日体験入学」での説明会参加者を含む

資料 1-7-10 大学に対する資料請求件数

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
春季（第 1 回入試出願締切まで）	179	162	223
夏季（第 2 回入試出願締切まで）	186	197	303
秋季（第 3 回入試出願締切まで）	152	159	192
冬季（第 4 回入試出願締切まで）	71	84	78
計	588	602	796

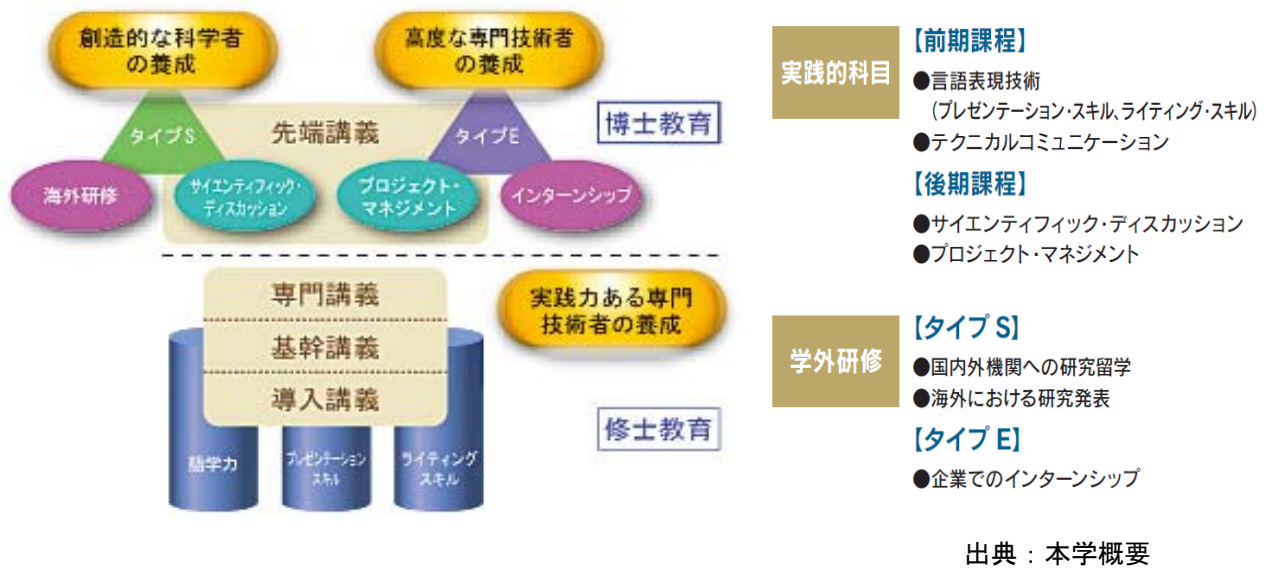
出典：本学調べ

資料 1-7-11 入学志願者数の推移（平成 20～22 年度 4 月入学のみ）

	平成 19 年度 (平成 20 年 4 月入学)		平成 20 年度 (平成 21 年 4 月入学)		平成 21 年度 (平成 22 年 4 月入学)	
	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
知識科学研究科	97	14	97	12	103	17
情報科学研究科	115	14	142	23	164	18
マテリアル工学研究科	137	14	136	11	203	19
計（年度・課程別）	349	42	375	46	470	54
計（年度別）	391		421		524	

出典：本学調べ

資料 2-2-12 新教育プランにおける学外研修制度



資料 2-2-13 学外研修の実施状況（人数）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
学外研究（国内）	11（9）	9（7）	13（11）
学外研究（国外）	0	2（2）	6（6）
インターンシップ	13（1）	21	17
計	24（10）	32（9）	36（17）

出典： 本学調べ

（ ）は副テーマ研究を実施した人数で内数

資料 2-2-14 インターンシップ参加者アンケートにおけるコメント

- A：自分のコミュニケーション能力、協調性、自主性や課題達成へのチームワークとリーダーシップ等の能力を修得することができた。
- B：自分の研究の有用性を確認でき、また、モチベーションの向上にも繋がった。
- C：開発現場に近い内容を扱っている部署で開発現場で利用する技術の開発や検証、現場で生じた問題の解決などに取り組んだが、企業での研究に対する取り組みと大学での研究に対する取り組みの違いを改めて認識させられた。
- D：最重要課題をクリアできた。大学における理論的研究も面白いが、企業における製品の研究開発も目の前にある現実問題をいかにして解くかということで面白いと感ずることができた。
- E：自分の研究が実際の開発現場において役立つ可能性がわかり、また、それを実現させることが出来る企業があることを知ったことが大きな収穫であった。
- F：卒業後の進路希望に沿ったインターンを経験できたことは大変有意義であった。企業での時間の使い方や手際のよさを身をもって経験が出来たことは、これから大いに役立つと確信できた。
- G：優れたシステムのデザインの重要性を理解した。

出典： インターンシップ参加者アンケート

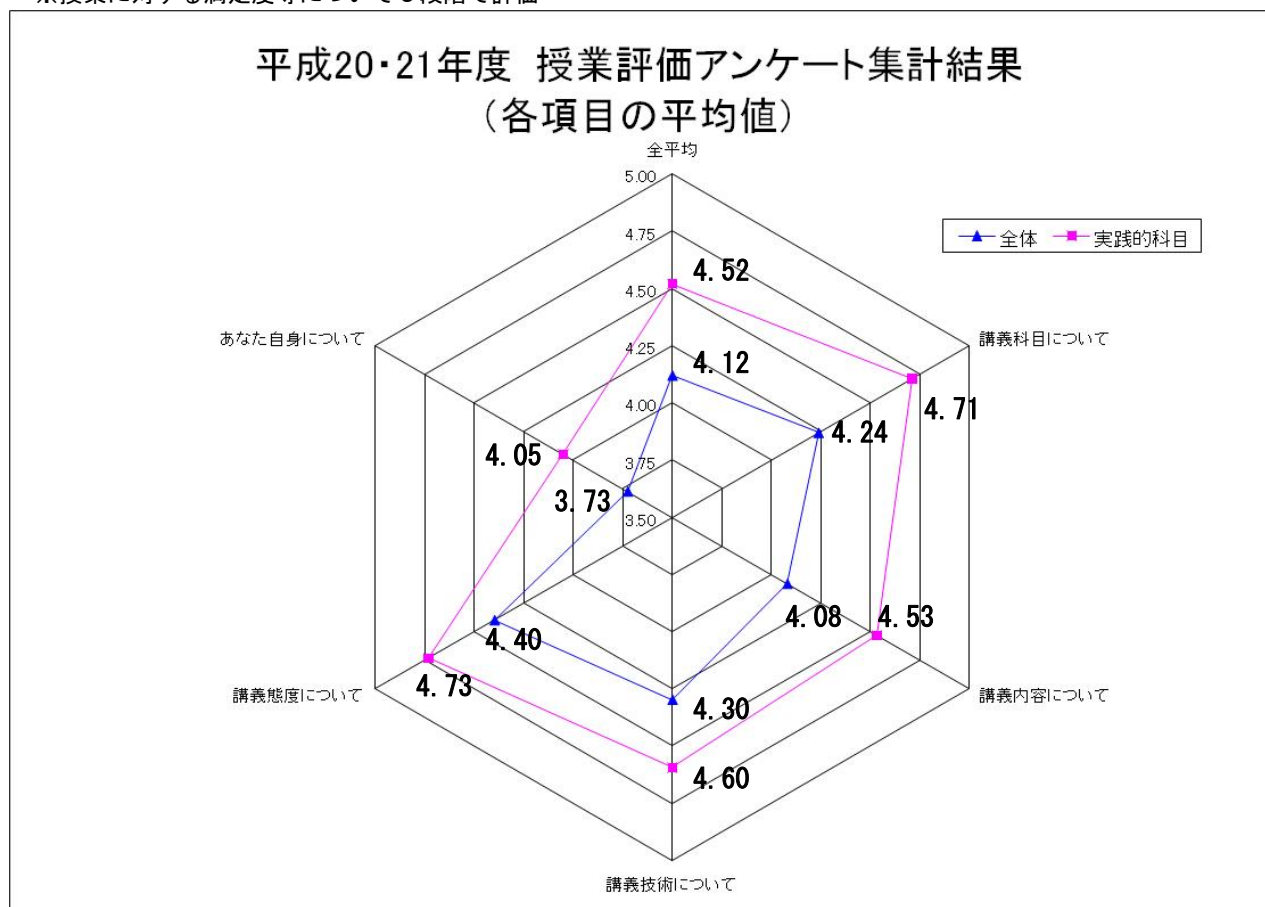
資料 2-3-15 実践的科目の概要と受講者数

科目名 (区分)	講義の概要	推奨受講対象	受講者数 (人)		
			H20	H21	計
言語表現技術 (共通科目)	論文作成及び学会発表等における日本語のライティング、プレゼンテーション技術の修得を目的とする。	博士前期課程	6	3	9
プロジェクト・マネジメント初級 (共通科目)	プロジェクト及びプログラムマネジメントの基礎知識体系を学ぶ。	博士前期課程	71	70	141
プロジェクト・マネジメント中級 (専門講義)	プロジェクトとプログラムマネジメントの応用と活用方法を理解することを目的とする。	博士前期課程	29	43	72
プロジェクト・マネジメント上級 (先端講義)	プロジェクトマネジメントの応用例を提供し、実際のプロジェクトにおけるPMの事例を学ぶ。	博士後期課程 Type E	16	23	39
サイエンティフィック・ディスカッション (先端講義)	双方向の高いディスカッションの積み重ねを通して、諸課題への対応能力、英語によるロジカルでクリティカルな思考に基づいた討論の技術を学ぶ。	博士後期課程 Type S	23	16	39

出典：平成 21 年度講義シラバス等から作成

資料 2-3-16 授業評価アンケートの結果

※授業に対する満足度等について 5 段階で評価



出典：平成 20・21 年度授業評価アンケート

資料 1-5-17 電子ジャーナルのタイトル数・アクセス数

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
タイトル数	6,243	6,870	8,183
年間アクセス数	105,366	127,869	149,648

出典：本学調べ

資料 1-5-18 JAIST 学術研究成果リポジトリの公開論文数・ダウンロード数

	平成 19 年度*	平成 20 年度	平成 21 年度
累計公開論文数	1,526	5,054	5,754
うち学位論文	986	1,069	1,146
論文年間ダウンロード数	76,465	281,609	438,518
月平均ダウンロード数	7,647	23,467	36,543

* リポジトリは H19. 5 月末より公開のため、H19 のダウンロード数は 6 月より集計

出典：本学調べ

資料 1-5-19 サテライトキャンパスの学生への貸出数

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
年間貸出冊数	54	87	134

出典：本学調べ

資料 1-5-20 県内図書館からの資料借用数（学生のみ）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
年間借用冊数	0	163	189

出典：本学調べ

資料 1-6-21 超並列計算機システムの利用状況

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
総投入ジョブ数	46,433	6,602	32,230
総利用ノード時間 (時)	2,072,132	1,277,505	1,656,031
平均ユーザ数	14.3	13.9	20.2
総計算処理回数	9.9×10^{21}	6.1×10^{21}	127×10^{21}
備考	XT3, 1 ノードあたり 4.8GFLOPS		XT5, 1 ノードあたり 76.8GFLOPS

出典：本学調べ

資料 1-6-22 マイクロソフト包括契約によるライセンス費用節減の効果 (価格の単位：千円)

		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	単価	利用数	ライセンス 相当価格	利用数	ライセンス 相当価格	利用数	ライセンス 相当価格
Office Enterprise	34	162	5,579	343	11,813	1,530	52,693
Office Mac	15	109	1,602	117	1,720	82	1,205
Windows XP Pro	28	67	1,849	115	3,174	92	2,539
Vista Enterprise	32	63	2,003	87	2,767	37	1,177
7 Enterprise	2	0	0	0	0	89	2,504
VisualStudio	13	120	1,613	157	2,110	1,278	17,176
計		521	12,646	819	21,584	3,108	77,294
包括契約価格 (年額)			7,355		7,355		7,355
差額			5,291		14,229		69,939

出典：本学調べ

資料 1-6-23 マイクロソフト学生向けインストールメディア販売本数

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
Office	122	217	164
WindowsOS	112	137	161
VisualStudio	76	80	47
Office Visio	69	60	30
計	379	494	402

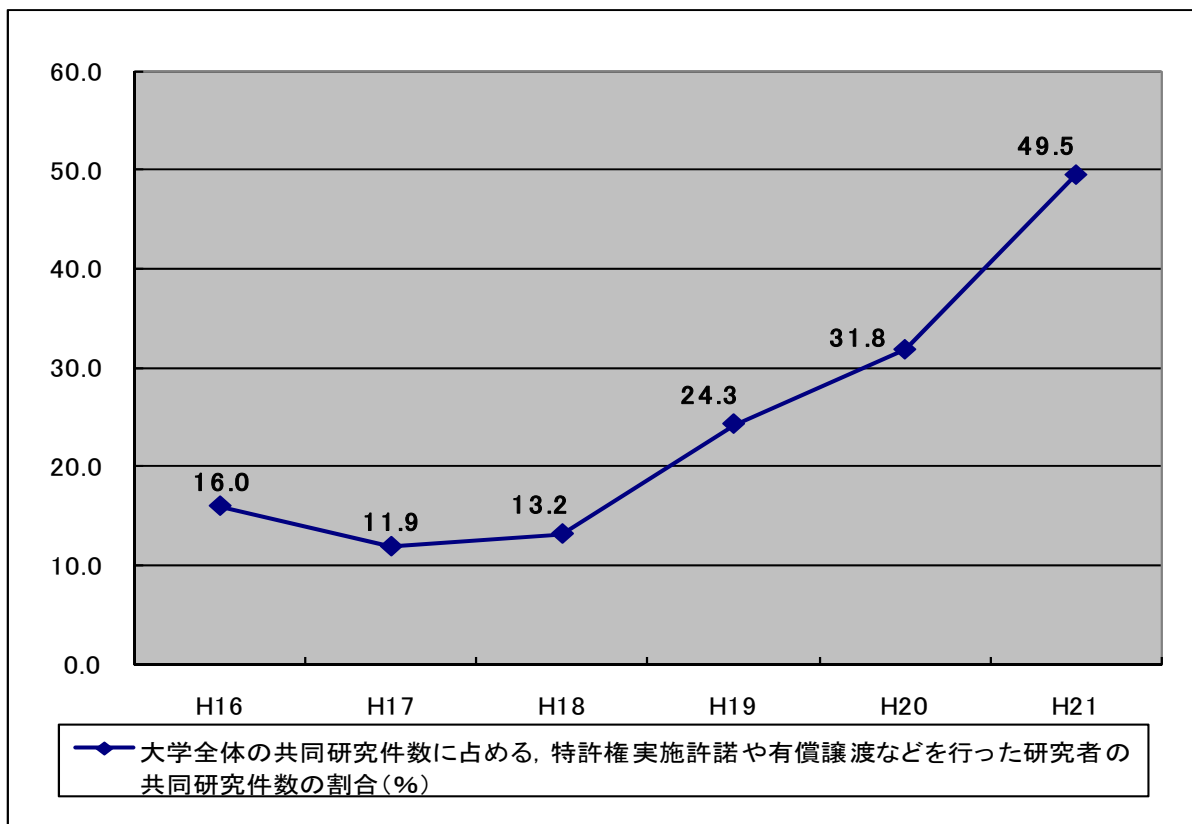
出典：本学調べ

資料 1-15-24 平成 21 年度の MOS コースの講義における MOT コース学生の参加状況

科目名	履修者数			
	MOS コース	MOT コース	その他	計
サービスイノベーション概論	8	4	2	14
マーケティングイノベーション	7	4	3	14
製造業のサービス化論	2	9	1	12
サービスリスク・マネジメント	6	6	1	13
横断型科学技術論	5	8	1	14
サービス工学と事例分析	3	6	2	11
情報産業サービス化論	3	4	0	7
IT ベースビジネス設計論	2	3	0	5
IT サービスマネジメント論	3	4	0	7
インターネットサービスシステム論	6	5	0	11
計 10 科目	45 (41.7%)	53 (49.1%)	10 (9.2%)	108

出典：本学調べ

資料 1-4-25 大学全体の共同研究件数に占める、特許権実施許諾や有償譲渡などを行った研究者の共同研究件数の割合（％）



出典：本学調べ